記者発表資料

平 成 ２２年 １２月 ２８日
国土交通省 青森河川国道事務所

一般国道4号 七戸バイパス開通1ヶ月後の効果
～国道4号の交通が減少し、バイパスに転換～

国土交通省 青森河川国道事務所では、七戸町内の交通混雑解消のほか、冬期における安全な生活道路の確保や新幹線駅へのアクセス向上を目的に七戸バイパスの整備を進めてきたところですが、平成 22 年 11 月 24 日(水)に延長約 2.8km が東北新幹線開業に先立ち開通しました。

これにより、すでに開通している区間(延長約 2.9km)と合わせて、七戸バイパスの全区間 約 5.7km が開通しました。

開通 1 ヶ月後の交通状況をお知らせします。

■ **国道 4 号の交通が減少し、バイパスに転換しました。**

	開通前		開通1ヶ月後	
平日	現 道	11,341 台/12h	→ 現 道	4,078 台／12h
			バイパス	10,618 台／12h
休日	現 道	12,909 台/12h	→ 現 道	3,644 台／12h
			バイパス	11,188 台／12h

※調査は平日及び休日の 7 時～19 時の 12 時間調査

■ **現道夜間の騒音値が8dB 低減し、環境基準値を満足しました。**

昼間 ： 開通前:70dB → 開通後:65dB【5dB 低減】
夜間 ： 開通前:66dB → 開通後:58dB【8dB 低減】

※調査は平日の 6 時～翌日 6 時の 24 時間調査

■ **バイパス利用により、休日の通過時間が30%短縮しました。**

※詳細については別添資料を参照してください。

※ 今後も調査を実施し、整備効果を公表する予定です。

〈 記者発表先:青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社 〉

【問い合わせ先】
国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所
住所 ： 青森市中央3丁目20－38
電話 ： 017－734－4521(代表)
URL http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/toroidal/
副所長(道路) 永井(ながい) 浩泰(ひろやす)(内線205)
調査第二課長 能勢(のせ) 和彦(かずひこ)(内線451)

一般国道４号

七戸バイパスが開通して

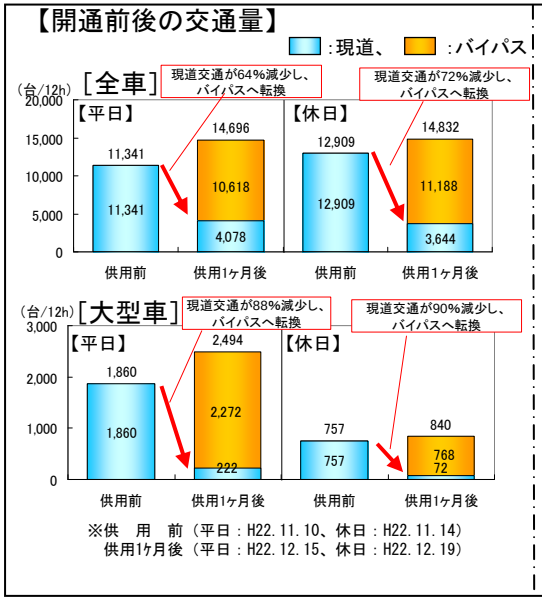
（平成22年11月24日開通）

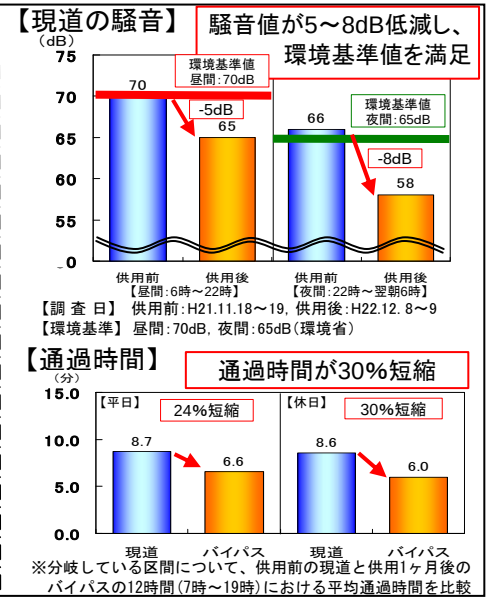
①国道4号の交通が減少し、バイパスに転換
②現道の騒音値が4～8dB低減
③バイパス利用で休日の通過時間が30%短縮




［全線2車線開通した七戸バイパス］

●東北新幹線開業に先立ち、七戸バイパスが全線開通し、新幹線駅へのアクセスが向上しました。
●国道４号の交通が64%（平日）及び72%（休日）減少し、バイパスに転換しています。特に大型車は、約９割がバイパスに転換しました。
●現道の騒音値が５～８ｄB低減し、現道沿線の環境改善が図られました。（環境基準値を満足）
●バイパス利用により休日の通過時間が30%短縮しました。





一般国道４号七戸バイパスの概要

・事業期間：平成元年～平成２２年度
・総事業費：約７７億円
・延　　長：５．７km（うち2.9kmは平成19年度に開通）
・幅　　員：１４．５m